

# 平成30年度事業報告書

【平成30年4月1日から平成31年3月31日まで】



チア!アート  
CHEER!ART

## トップメッセージ

医療や福祉の現場を人の生きる力を引き出し、

自分らしい生き方が出来る環境にしたい。

そんな思いから、平成29年7月にチア・アートは、歩み出しました。

昨年度は2期目にあたり、病院や福祉施設でのアートコーディネートや

妄想ワークショップの実施、共同研究、シンポジウムの開催などを通して、

医療や福祉の現場での環境改善に取り組んできました。

今後も、医療や福祉の環境のあり方について、

職員の皆さん、利用者や地域の方々、デザイナーや企業と一緒に考えながら、

アートやデザインのプロジェクトに取り組んでいきたいと思えます。

また、様々な分野の方たちが一緒に話し合える場づくりや

プラットフォームづくりにも取り組んでいきたいと思えます。

この1年、会員の皆さまには、様々なかたちでご支援いただきました。

誠にありがとうございました。

引き続き、継続的なお力添えを心よりお願い申し上げます。



2019年11月

特定非営利活動法人 チア・アート

理事長 岩田祐佳梨

# 1 事業の成果

当法人は、2期目の活動を4月に開始させ、平成30年5月26日に通常総会を行いました。事業として、(1) 医療施設等における環境改善事業、(2) 療養生活を支援する製品等の開発・販売事業、(3) 医療施設等でのアート活動の啓発・普及事業を行っています。また、広報を強化するため、2019年3月にホームページ (<https://www.cheerart.jp>) を開設しました。ニュースや活動の様子は、Facebook (<https://www.facebook.com/cheerart.jp>) で発信しています。



チア・アートホームページ



チア・アート Facebook

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 医療施設等における環境改善事業

#### ① 筑波大学附属病院 アート・コーディネート業務の受託

筑波大学附属病院と筑波大学芸術系との協働によるアートプロジェクトのコーディネート業務を行い、アート・デザインによる継続的な環境改善をマネジメントしました。2018年度は、1) 病院のアートを育てる会議の開催、2) 作品展示(書、洋画、写真、立体造形、企画展示)の継続・更新、3) 学生によるアートイベントの実施支援、4) 病院部局が主体で行う事業へのアート分野に関する協力・支援を行ないました。

- 実施日時：2018年6月～2019年3月
- 場所：筑波大学附属病院(茨城県つくば市)
- 従事者：渡邊のり子(アート・コーディネーター)、岩田祐佳梨(理事長)、貝島桃代(副理事長)
- 受益対象者の範囲・人数：病院利用者、病院職員、筑波大学学生・教員(不特定多数)



まど百景ワークショップ/adp学生チーム「アスパラガス」



筑波大学附属病院ドリームポートレートシリーズ/写真実習 受講学生

## ② 筑波メディカルセンター病院 アート・コーディネート業務の受託

筑波大学附属病院と筑波大学芸術系との協働によるアートプロジェクトのコーディネート業務を行い、アートによる継続的な環境改善をマネジメントしました。2018年度は、1) 大学とのアート活動の協働支援（エントランスサインデザインの支援、改善後調査の実施、緩和ケア病棟の環境改善支援）、2) 院内の環境改善支援（ひだまりラウンジの家具選定・フロアサインのデザイン支援、さくらひろば作品展示）を行ないました。

- 実施日時：2018年11月～2019年3月
- 場所：筑波メディカルセンター病院（茨城県つくば市）
- 従事者：今村明日香（アート・デザインコーディネーター）、岩田祐佳梨（理事長）、貝島桃代（副理事長）
- 受益対象者の範囲・人数：病院利用者、病院職員、筑波大学学生・教員（不特定多数）



エントランスサイン／adp学生チーム「パブリカ」



ひだまりラウンジフロアサインのデザイン／チア・アート  
協賛：富士フィルムイメージングシステムズ株式会社

## ③ 茨城県立中央病院 病院改革プロジェクト「ホスピタリティ・イン・ホスピタル」

病棟のデイルームを、悲しい時に泣けて、しんどい時に横になれるような空間にしつつ、母親教室など学びの場としても機能するような空間にしようと、病院職員らと一緒に青図を描きました。また、重症個室の改善に向けた議論促進のための支援も実施しました。

- 実施日時：2018年4月～2019年3月
- 場所：茨城県立中央病院（茨城県笠間市）
- 従事者：牧奈歩、岩田祐佳梨（理事長）
- 受益対象者の範囲・人数：病院利用者、病院職員（不特定多数）



看護師、医師との対話



職員の想いが詰め込まれたデイルームの青図

#### ④特別養護老人ホームミノワホーム 妄想ワークショップ

壁の仕上げに使われた有効ボードを職員が活用し、施設を生活環境として設えることが出来るように、ワークショップを企画しました。建築系の学生と職員がチームを組み、アイデアをコラージュで表現し、即興の道具でアイデアを可視化し、最後は利用者さんに講評いただきました。

- 実施日時：2018年5月20日
- 場所：特別養護老人ホームミノワホーム（神奈川県愛甲郡愛川町）
- 従事者：岩田祐佳梨（理事長）
- 受益対象者の範囲・人数：施設利用者、施設職員、学生（不特定多数）



コラージュによるアイデア出しワークショップ



モックアップ制作と施設利用者による講評

##### 【壁の穴ワークショップ 2018 有効ボードの有効性】

主催：特別養護老人ホームミノワホーム 企画：teko、チア・アート 協力：筑波大学 学生有志、東京工芸大学 学生有志

#### ⑤エンジョイパートナーほっと 妄想ワークショップ

知的障害者の生活介護、放課後デイサービスを行う法人職員を対象に支援空間に関するワークショップを実施しました。コラージュ作成によって支援空間に対する職員の潜在的な想いや課題を引き出し、様々な空間の写真を用いてイメージを空間化するための対話を行ないました。

- 実施日時：2018年10～12月
- 場所：らいふすぺーすえん、こどもデイサービスじょい（埼玉県桶川市）
- 従事者：岩田祐佳梨（理事長）
- 受益対象者の範囲・人数：施設利用者、施設職員、学生（不特定多数）



様々な場面や空間の写真を用いたワークショップ



コラージュによるアイデア出しワークショップ

##### 【知的障害の支援空間を考える】主催：エンジョイパートナーほっと 企画：チア・アート

協力：日本工業大学生活環境デザイン学科「協働デザインの手法」受講学生、勝木祐仁研究室

## ⑥水戸済生会総合病院 病児保育所デザインアドバイス

2019年3月に竣工した新設の病児保育所の内装について、子供・親・スタッフに優しく、元気が出るような配色や素材に関するアドバイスを行ないました。

- 実施日時：2018年6～8月
- 場所：水戸済生会総合病院 病児保育所（茨城県水戸市）
- 従事者：岩田祐佳梨（理事長）、貝島桃代（副理事長）
- 受益対象者の範囲・人数：施設利用者、施設職員（不特定多数）



【水戸済生会病院 病児保育所】

施主：水戸済生会病院 設計：株式会社三橋設計 内装デザインアドバイス：チア・アート 竣工：2019年3月

## (2) 療養生活を支援する製品等の開発・販売事業

### ①共同研究「子供の療養環境改善のための支援ツールの開発」

読書ゼミ、チャイルド・ライフスペシャリストや看護師への取材などを通して、子ども自身が医療行為や自分の疾患について理解し、主体的に病気に向き合えられるような支援ツールや環境づくりのあり方を調査しました。

- 実施日時：2018年4月～2019年3月
- 従事者：岩田祐佳梨（理事長）、牧奈歩、長島明子
- 受益対象者の範囲・人数：企業職員、小児患者（不特定多数）



チャイルドライフスペシャリストを講師に迎えた勉強会 プレパレーションツールの試作

【研究課題名 院内の公共スペースを用いた参加型アート】

共同研究者：パラマウントベッド株式会社、協力者：国立成育医療研究センター チャイルドライフスペシャリスト、筑波大学附属病院看護部

### (3) 医療施設等でのアート活動の啓発・普及事業

#### ① ツアー & シンポジウム「アートでつくる病院のミライ」開催

筑波大学附属病院および筑波メディカルセンター病院におけるアートツアーを開催し、約40名が参加してくれました。約80名が参加したシンポジウム前半は、森合音氏（NPO 法人アーツプロジェクト）、岩田祐佳梨が講演し、後半は、チア・アート理事・正会員の蓮見孝氏、軸屋智昭氏、白川洋子氏を交えたパネルディスカッションを実施しました。

- 実施日時：2018年5月26日
- 場所：筑波大学附属病院
- 従事者：岩田祐佳梨（理事長）原晃、蓮見孝、軸屋智昭（理事）、山中敏正（幹事）、牧奈歩、長島明子
- 受益対象者の範囲・人数：医療者、地域住民、学生、アート・デザイン関係者など約80名



病院アート関係者が解説して巡るツアー



森合音氏による講演

【アートでつくる病院のミライ】主催：チア・アート 共催：筑波大学附属病院、筑波メディカルセンター病院、筑波大学芸術系

#### ② 学会・シンポジウムなどでの展示・講演の実施

そのほか、日本医療福祉設備学会（11月20日）、NPO 法人AIT[アーツイニシアチブトウキョウ]主催 MAD プログラム（11月22日）で講演を行いました。

- 実施日時：11月20日、11月22日
- 場所：ビックサイトほか
- 従事者：岩田祐佳梨（理事長）
- 受益対象者の範囲・人数：学生、アート関係者、設計者、医療従事者など（不特定多数）

# チア・アートへのご支援 ありがとうございます

(平成30年4月～平成31年3月決算)

収益 (単位千円)		支出 (単位千円)	
会費	381	事業費	1,561
事業収益	2,928	管理費	1,645
寄付	10	合計	3,206
合計	3,319		

## 平成30年度 特定非営利活動法人チア・アート 役員

理事長 岩田 祐佳梨 / 東京工芸大学工学部建築学科 助手

副理事長 貝島 桃代 / 筑波大学芸術系 准教授

理事 五十嵐 徹也 / 茨城県病院局 病院事業管理者

原 晃 / 筑波大学附属病院 病院長

軸屋 智昭 / 筑波メディカルセンター病院 病院長

蓮見 孝 / 元札幌市立大学学長、筑波大学名誉教授

太田 圭 / 筑波大学芸術系長 教授

監事 山中 敏正 / 筑波大学芸術系 教授